

蒲原LCとの 合同家族例会

L 辻 宏幸



平成22年7月24日（土曜日）恒例の蒲原ライオンズクラブとの交流事業として合同家族例会が開催されました。今回は蒲原ライオンズクラブの企画により蒲原を訪問しての開催となり、早朝、当クラブよりライオン16名・家族3名の計19名がバスにて蒲原LCメンバーの待つ由比港へ向かいました。

道中、仲間達と和気藹々と楽しい時間を過ごしながら3時間弱にて到着。

バーが刺身やバーベキューとしていただき、珍味満載で厚いもてなしをしていただきました。時間にしたら4時間足らずの短い時間ではありましたが、とても楽しい交流家族例会となりました。

両クラブ会長をはじめ両クラブのメンバーが自己紹介をしたり、また相互のクラブの現況を伝え合い、今後の友好関係も再確認出来た充実した一日でした。

来年は当クラブが企画・準備を担当しお迎えすることとなります。蒲原LCの皆さんに楽しんでもらえるように当クラブ全員でがんばりましょう。

P.S. 会場と例会の準備していただいた蒲原ライオンズクラブのメンバーと奥様並びに天気も良く気温も上がり暑い中をバーベキューの準備又調理・焼きを全て担当してもてなしてくれました由比漁協若手メンバーには本当に感謝・感謝 !!



現地では、蒲原LCの計画委員長所有の定置網漁船にて、由比港定置網漁の漁場周辺の遊覧を楽しんだり、蒲原LCメンバーをはじめメンバーの奥様方に会場の準備をしていただき、蒲原LC稲葉会長が育てた自慢のローストチキンやメンバー企業の特産品・地酒、そして漁港に上がったばかりの魚介類を由比漁協若手メン



「歴史を知り未来を築く」^{あす} 今、なにをすべきか

中央道

編集・制作
PR・IT情報委員会

歴史を知り未来を築く 今、なにをすべきか

今期、クラブ会長としての1年のスタートとなったわけですが、私としては準備期間の1年間もあつと言う間に過ぎてしまい、まだ手探り状態でのスタートと感じています。但、このスタートに当りましては、皆様会員全員の方が非常に協力的であり、多少のことは目をつぶりながら温かい目でスタートを切らせていただける心の大きな先輩と「私たちも頑張りますよ」という若い皆さんのパワーを頂いてスタートを切れることに、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

今期私が掲げるクラブテーマですが「歴史を知り未来（あす）を築く」というメインテーマと「今、なにをすべきか」というサブテーマを掲げさせていただきました。

また、今期理事会や委員会の構成等を少し変えさせていただきました。

このテーマや委員会の構成の変更で私の方針が改革・改革といった感じで進むように感じる方もあるかも知れませんが、基本的な私の考え方としては、歴史を築いてきた先輩の知恵と経験と意見を聞かせていただき、かつ勉強させていただき若いメンバーのパワーと融合してクラブの活性化を図りどこのクラブにも負けない連帯感を持つクラブ運営ライオンズの誓いにある「友愛と相互理解の精神」を地でいくクラブ運営を進めていきたいというのが一番の方針です。

その中で会員の皆様がクラブの運営に積極的に参加して真剣に考えて、組織の改革や財務の

見直しが必要と考えた時は改革し、踏襲となればそれが良しと考えていますので、改革ありきではありません。色々と意見を聞き話し合いながら最終的には皆さんが一丸となつて奉仕をし又親睦をすることが最高の結果でありそれを目指したいと思っております。



会長
L 七澤 勲

今期、設けさせていただいた特別委員会「クラブ長期計画委員会」につきましてもクラブの目指す方針はその時その時の執行部の考えで決めるのではなく色々な意見を聞きながら長期的な展望をもって決めていきたいと考え設けさせていただきました。現時点では、今後どのように運営し、進めていくのかと漠然としたところもあります。この委員会では既存の委員会と重複する協議事項も多々あるかとは思いますが、従来の各委員会では今期1年間の各委員会の担当すべき事業についての協議又運営に責任を持っていただき、クラブ長期委員会は今後5年程度先の先を見据えた運営方針やクラブのビジョンを考えていただく形との位置づけで考えておりますので、皆様のご理解ご協力を宜しく願います。

私は、平成13年1月に甲府中央ライオンズクラブに入会させていただき、今期がまだ入会后10年目に入ったばかりで、長い歴史の中での当クラブの会長としては考えると創立初期を除けば非常に経験の浅い中での会長就任となりました。又、地域社会の中でもこれといった実績も経験ありません。歴史ある甲府中央ライオンズクラブのメンバーの皆さんにはその点、非常に心配であると思っておりますが、皆さん是非心配